

海外投資適格社債ファンド

<愛称：IGファンド>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外投資適格社債マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行する社債および各種債券に投資を行い、長期的に安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年11月17日～2021年5月17日

第210期	決算日：2020年12月15日	
第211期	決算日：2021年1月15日	
第212期	決算日：2021年2月15日	
第213期	決算日：2021年3月15日	
第214期	決算日：2021年4月15日	
第215期	決算日：2021年5月17日	
第215期末 (2021年5月17日)	基準価額	7,118円
	純資産総額	1,749百万円
第210期～ 第215期	騰落率	3.6%
	分配金合計	78円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

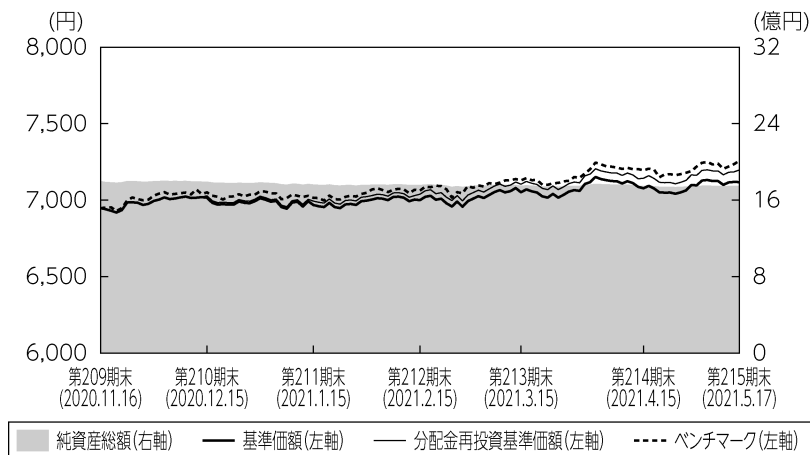
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第210期首： 6,948円
 第215期末： 7,118円
 (既払分配金78円)
 騰落率： 3.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界B I G 債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

海外投資適格社債マザーファンドへの投資を通じて本邦通貨建公社債を除く世界各国の公社債に投資を行った結果、保有債券は軟調となったものの、投資通貨が円に対して上昇したことから基準価額（分配金再投資ベース）が上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第210期～第215期		項目の概要
	(2020年11月17日 ～2021年5月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	48円	0.685%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,025円です。
(投信会社)	(23)	(0.329)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.329)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.043	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.035)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.007)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	51	0.727	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

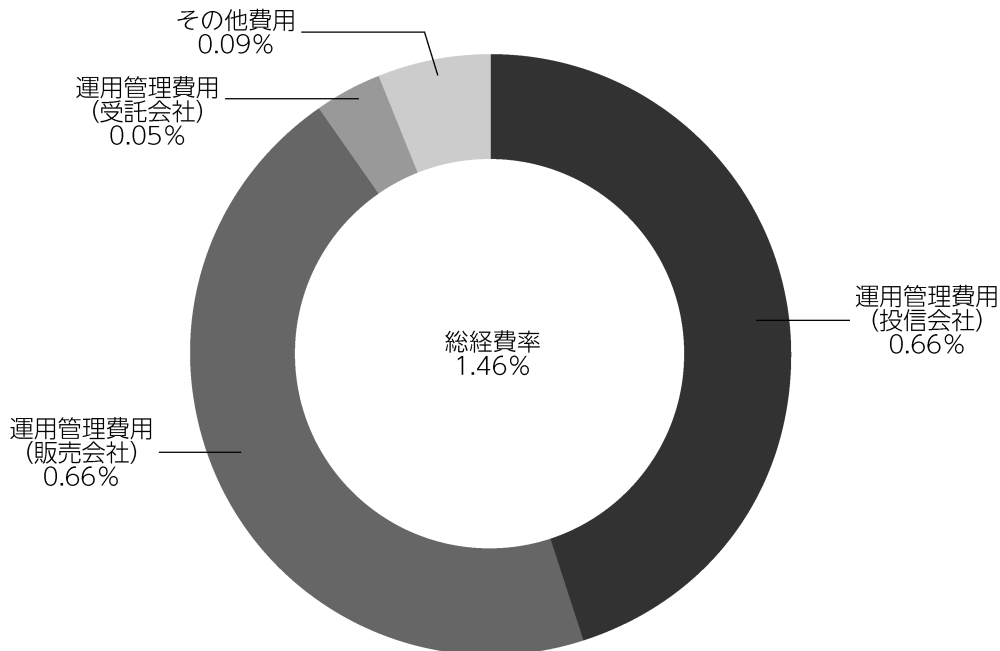
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



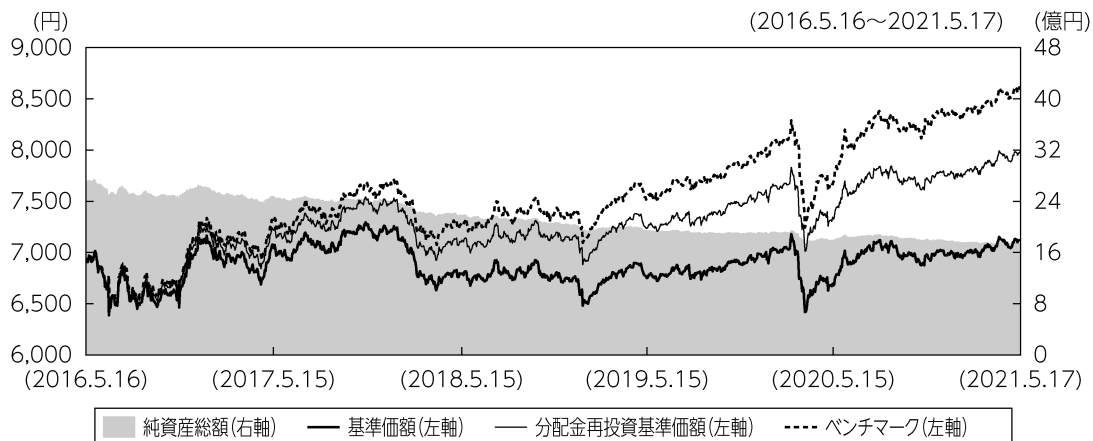
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



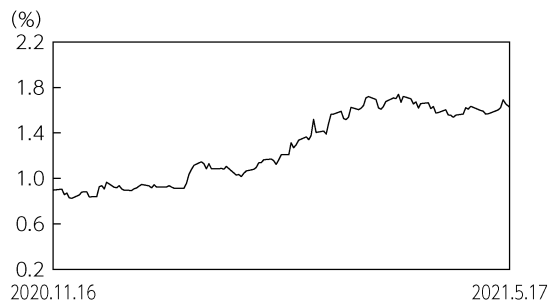
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E世界B I G債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース））は、2016年5月16日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2016年5月16日 期首	2017年5月15日 決算日	2018年5月15日 決算日	2019年5月15日 決算日	2020年5月15日 決算日	2021年5月17日 決算日
基準価額（分配落）	(円)	6,932	7,042	6,794	6,749	6,695	7,118
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	166	156	156	156	156
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	4.1	△1.3	1.7	1.5	8.7
ベンチマークの騰落率	(%)	—	5.3	△0.2	3.4	1.7	12.4
純資産総額	(百万円)	2,719	2,469	2,189	1,941	1,799	1,749

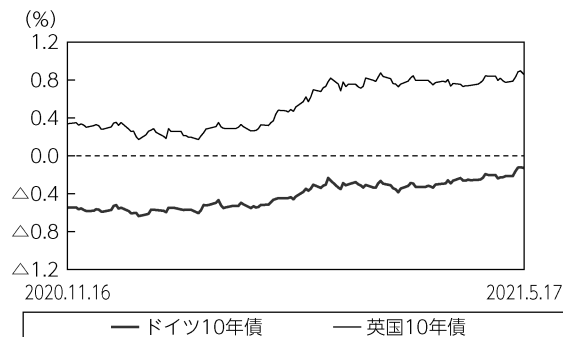
投資環境

欧米債券市場は、新型コロナウイルスのワクチン開発・普及が進展する中、世界的な景気回復期待などを背景としたインフレ懸念を受けて軟調となりました。作成期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大に対する根強い警戒感や金利の上昇が過度であるとの見方などから債券利回りの上昇が一服しました。社債市場は、相対的に高い利回りを求める投資家需要などから底堅い動きとなり、国債に対してアウトパフォーマンスしました。

<米10年国債利回りの推移>

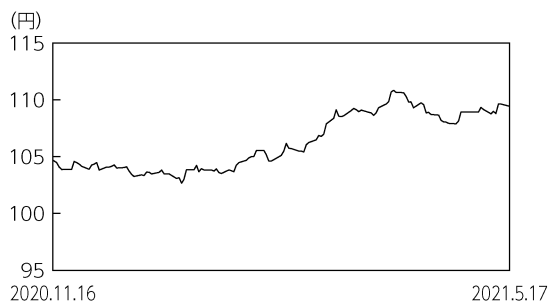


<独、英10年国債利回りの推移>

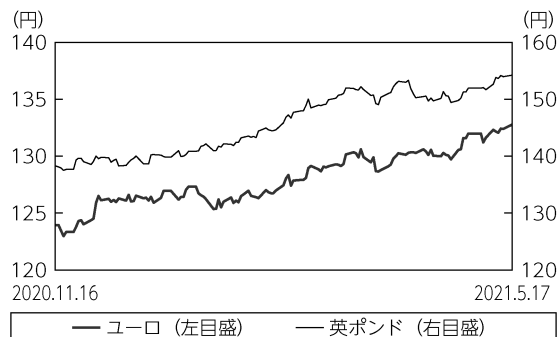


為替市場は世界的な景気回復期待が高まる環境下、欧米債券の利回りが上昇したことから英ポンド、ユーロ、米ドルが円に対して上昇しました。このような中、英ポンドは、EU（欧州連合）との通商交渉が合意に至ったこと、新型コロナウイルスの感染拡大に落ち着きが見られたことなどから円、米ドル、ユーロに対して上昇しました。

<米ドルの対円レートの推移>



<ユーロ・英ポンドの対円レートの推移>

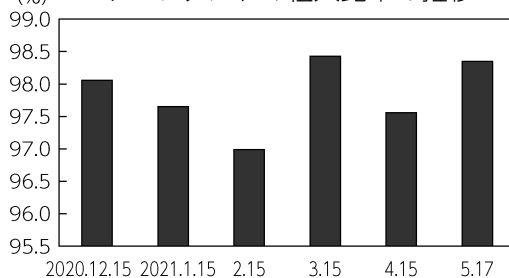


ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドの運用においては、海外投資適格社債マザーファンドの高位組入れを継続しました。

＜当ファンドの海外投資適格社債マザーファンドの組入比率の推移＞



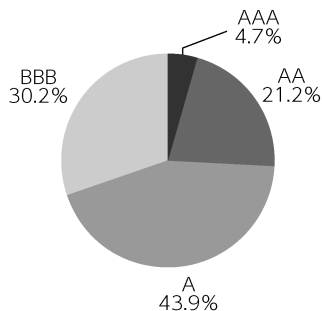
●海外投資適格社債マザーファンド

セクターおよびクレジット戦略については、大手金融セクターを中心に投資を行いました。信用格付け別では、ベンチマークであるF T S E世界B I G債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）に対してA格以上の格付けの比率を高めとしました。

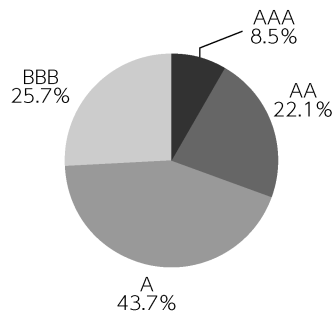
デュレーションについては、ベンチマークに対して同程度を維持しました。通貨配分は、作成期初は米ドルを小幅にオーバーウエイトとしましたが、徐々にオーバーウエイト幅を縮小しました。

○格付別構成比

前作成期末

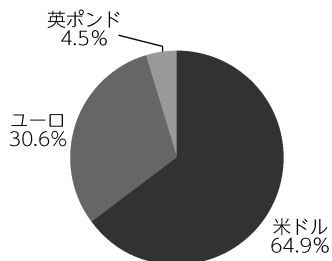


当作成期末

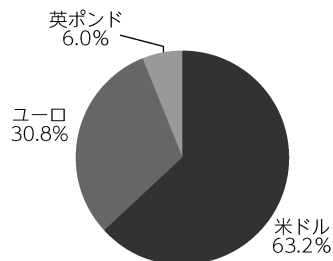


※比率は、債券時価総額に対する評価額の割合です。

○通貨別構成比
前作成期末



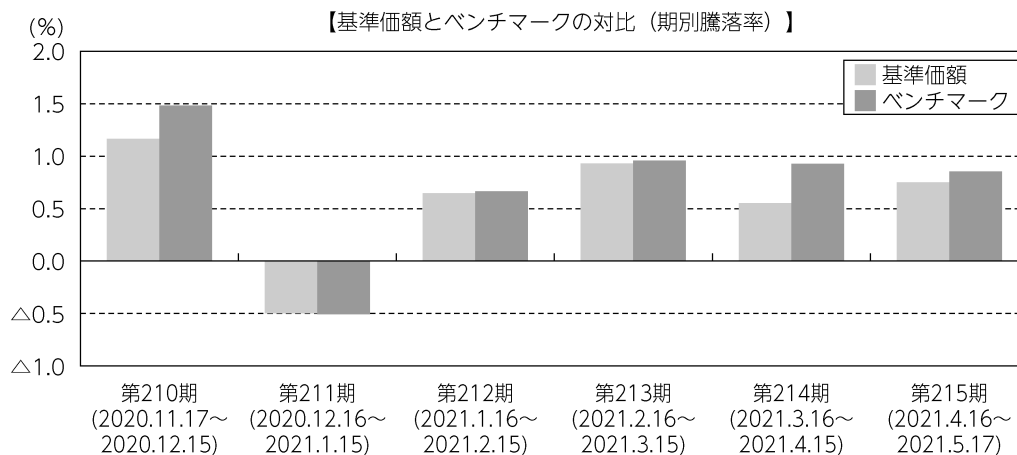
当作成期末



※比率は、債券時価総額に対する評価額の割合です。

■ベンチマークとの差異について

当作成期においては債券の銘柄選択効果に加え、信託報酬などの影響を受けて、ベンチマークに対して△0.9%となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2020年11月17日 ~2020年12月15日	2020年12月16日 ~2021年1月15日	2021年1月16日 ~2021年2月15日	2021年2月16日 ~2021年3月15日	2021年3月16日 ~2021年4月15日	2021年4月16日 ~2021年5月17日
当期分配金（税引前）	13円	13円	13円	13円	13円	13円
対基準価額比率	0.18%	0.19%	0.19%	0.18%	0.18%	0.18%
当期の収益	13円	8円	13円	13円	13円	13円
当期の収益以外	-円	4円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	143円	138円	140円	141円	142円	144円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

今後も海外投資適格社債マザーファンドへの投資を継続し、長期的に安定した収益確保と投資信託財産の成長を目指して参ります。

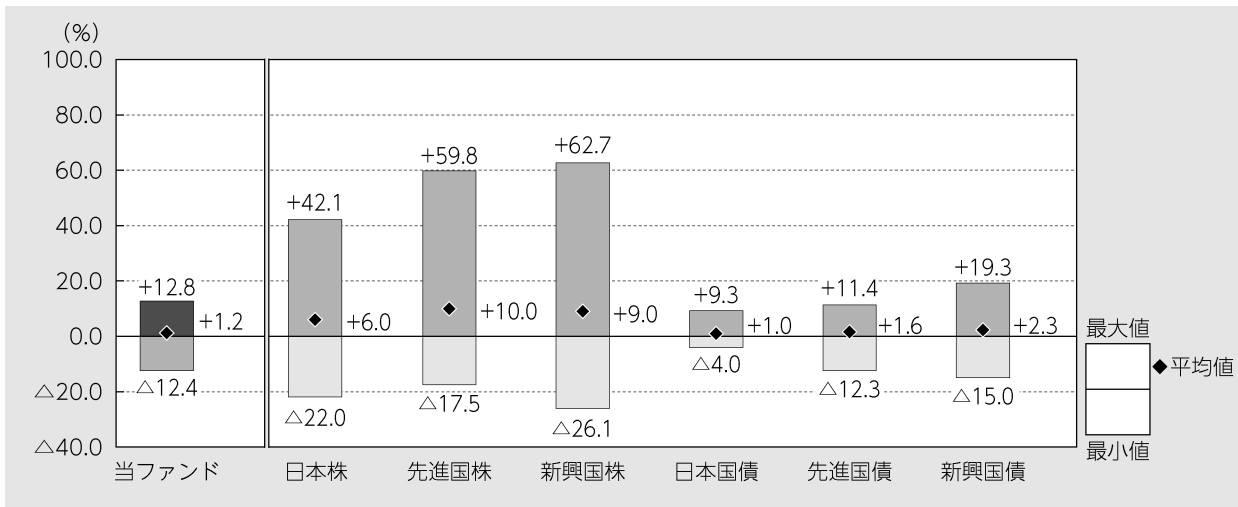
●海外投資適格社債マザーファンド

債券市場は、各国中央銀行の金融緩和が下支えとなり底堅い動きを想定していますが、インフレの影響には注視する必要があると考えています。為替市場では、米ドルは、成長格差を反映して欧州通貨に対して強含む動きを想定しています。投資銘柄に関しては社債市場の値動きには注視する必要があると考えていることから、引き続き値動きの安定が期待される財務状況の安定している企業を選好する方針です。通貨配分については、現状程度を継続します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	ベンチマークであるF T S E世界B I G債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）を上回る投資成果を目指します。	
主要投資対象	海外投資適格社債 フ ァ ン ド	海外投資適格社債マザーファンドを通じて、本邦通貨建公社債を除く世界各国の社債および各種債券を主要投資対象とします。
	海外投資適格社債 マ ザ ー フ ァ ン ド	本邦通貨建公社債を除く世界各国の社債および各種債券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>海外投資適格社債マザーファンドを通じて、主として世界各国の社債に投資し、ベンチマークであるF T S E世界B I G債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）を上回る投資成果を目指します。</p> <p>実質的な外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>公社債の実質組入比率については原則として高位を保ちますが、資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない可能性があります。</p> <p>海外投資適格社債マザーファンドにおける外貨建資産の運用指図に係る権限を、フィデューシャリー トラスト カンパニー インターナショナルに委託します。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、上記分配対象収益範囲のうち原則として利息収入相当部分とします。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2016年5月～2021年4月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年5月17日現在）

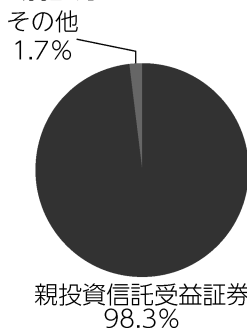
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第215期末
	2021年5月17日
海外投資適格社債マザーファンド	98.3%
その他	1.7

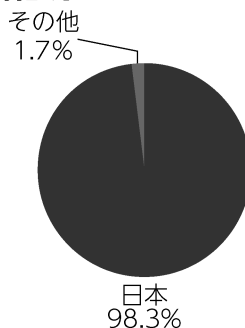
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

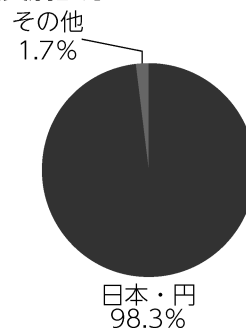
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

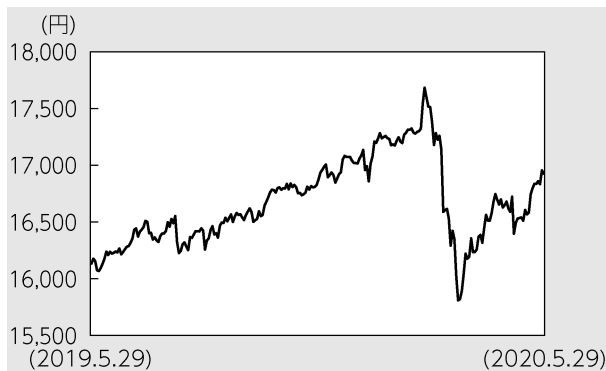
項目	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末
	2020年12月15日	2021年1月15日	2021年2月15日	2021年3月15日	2021年4月15日	2021年5月17日
純資産総額	1,793,902,464円	1,763,715,024円	1,758,678,826円	1,751,285,524円	1,748,005,346円	1,749,409,809円
受益権総口数	2,556,918,007口	2,531,083,108口	2,512,257,033口	2,483,242,899口	2,469,661,781口	2,457,646,881口
1万口当たり基準価額	7,016円	6,968円	7,000円	7,052円	7,078円	7,118円

(注) 当作成期間（第210期～第215期）中における追加設定元本額は1,329,727円、同解約元本額は132,958,645円です。

組入ファンドの概要

【海外投資適格社債マザーファンド】（計算期間 2019年5月30日～2020年5月29日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

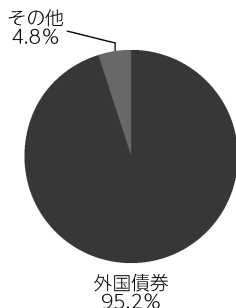
銘柄名	通貨	比率
JPMORGAN CHASE & CO 3.9 07/15/25	アメリカ・ドル	3.4%
CA TXB-VAR PURP 7.55 04/01/39	アメリカ・ドル	2.9
SACRAMENTO MUD-W 6.156 05/15/36	アメリカ・ドル	2.9
MICROSOFT CORP 4.1 02/06/37	アメリカ・ドル	2.7
WALMART INC 3.3 04/22/24	アメリカ・ドル	2.6
ELECTRICITE DE FRANCE SA 6.95 01/26/39	アメリカ・ドル	2.6
COMCAST CORP 3.375 08/15/25	アメリカ・ドル	2.5
NESTLE HOLDINGS INC 3.9 09/24/38	アメリカ・ドル	2.4
HOME DEPOT INC 3.0 04/01/26	アメリカ・ドル	2.3
SINOPEC CAPITAL 2013 LTD 3.125 04/24/23	アメリカ・ドル	2.2
組入銘柄数	60銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

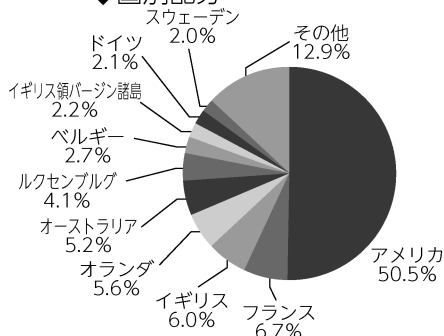
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	12円 (11)	0.070% (0.069)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	12	0.070

期中の平均基準価額は16,672円です。

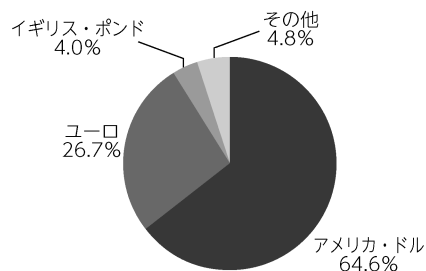
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

- FTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）
FTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要市場をカバーする投資適格債インデックスの社債セクターです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

